



るもい風土資産カード

遠別町郷土資料館

閉校した木造校舎を利用した
遠別の開拓の歴史を伝える資料館

遠別町の開拓の歴史や生活、農林漁業で栄えた町の様子などを紹介する郷土資料館は、昭和57年(1982年)3月に閉校した旧丸松小学校の校舎を改修して、昭和59年(1984年)9月に開設されました。校舎は昭和12年(1937年)に建てられた木造平屋で、延べ床面積は約406平方メートル。建物そのものが貴重な郷土資料となっています。

館内には展示室、収蔵庫、事務室などがあり、展示室は「えんべつの開拓と歴史」「えんべつの交通・通信」「えんべつの開拓と産業(農・林・漁業)」「えんべつの自然」「えんべつの防災」などのコーナーに分かれています。「えんべつの開拓と歴史」コーナーに展示されている「おがみ小屋」と呼ばれる開拓小屋は、明治30年(1897年)に入植した愛知県からの集団が建てた笹葺小屋を再現したもので、風雪に耐え、苦難を乗り越えてきた開拓者の暮らしが実感できます。

また、「えんべつの交通・通信」コーナーでは旧国鉄羽幌線の開通から廃止までの歴史を紹介。主力産業だった農林漁業の用具や町内に生息する動物のはく製なども展示されているほか、明治44年(1911年)に発足した私設消防組の用具も展示しています。

遠別町は明治30年(1897年)に開墾が始まり、平成9年(1997年)に開基100年を迎えました。約6000点の歴史資料が展示された資料館は、遠別町の歴史そのものであり、開拓時代の先人の苦労をしのぶ貴重な施設となっています。

見どころ

昭和57年(1982年)に廃校となった旧丸松小学校は当時、町内の学校で一番古い校舎で、その歴史的価値の高さから、資料館として利用されることになりました。木造平屋の趣のある建物の外観から内部まですべてが貴重な展示物です。

ポイント

地元住民と行政が共同で作った手づくりの資料館です。大きな見所としては、地元ボランティアの手により再現された開拓小屋(おがみ小屋)があります。これは、本州からの開拓者が入植した際に建てられた笹葺小屋を再現したものです。

五感で感じる！風土資産の魅力



昭和12年建設の旧丸松小学校校舎を改修して開設されており、遠別町の開拓と生活、そして産業(農・林・漁業)で栄えた町の様子が事細かに展示されています。建物からも当時の風情に触れることができますでしょう。



遠別町は、日本海と雄大な山野に抱かれた風光明媚な町です。この豊かな大自然に囲まれた本町に生息する動物、町の主産業として大きなウエイトを占めている農・林・漁業などについて展示しています。



■基本情報 (R7.3)

住 所：天塩郡遠別町字丸松163番地
開館期間：5月1日～10月31日
(職員が常駐していませんので、利用の際は見学の3日前までに下記の問い合わせ先まで連絡して下さい。)
開館時間：9:00～17:00
入館料：無料
問い合わせ：遠別町教育委員会
T E L：01632-7-2353